

German travel report

ドイツ旅行記

弁護士 田中 勇輝

昨年の10月、ドイツに4泊6日という旅行に行ってきましたのでドイツの魅力についてお話ししたいと思います。

日本から約12時間の飛行時間でフランクフルト空港に降り立ちました。フランクフルトは10月でも日本の初冬ほどの寒さで、気温は10度超といったところでしょうか。空港から地下鉄で中心部であるフランクフルト中央駅に向かい、ホテルにチェックイン。到着当日は早速、ドイツと言ったらなんと言ってもソーセージを食べに行きました。

お店は友人から教えてもらった“ツム・ゲマールテンハウス”というお店。フランクフルト中心部から徒歩15分ほどのザクセンハウゼン地区というところにあります。ただ、そのお店は、見た限りドイツ語のメニューしかなく、何を頼めば良いかよく分からなかつたので、とりあえずソーセージの盛り合わせとザクセンハウゼン地区の名物であるらしい“アーフェル・ヴァイン”というりんご酒をオーダーしました。ドイツではソーセージには必ず黒パンというライ麦パンがついてくるようです。

しかし、失敗だったのは、出てきたソーセージの盛り合わせはすごい量で、途中まではおいしいおいしいとソーセージを食べ始めましたが、だんだんソーセージとパサッとした食感の黒パンに飽き始めてしまいました。それからさらに、黒色のレバーのソーセージは申し訳ないことに少々口に合わず。アーフェル・ヴァインはりんご酒という名前ですが、薄いビールのようなお味で…。というような食事で、幸先の悪いスタートとなりましたが、頼み方を間違えなければ良いお店だと思います。

そして、二日目以降ですが、ドイツは、日本の新幹線のようなICEと呼ばれる特急列車を初め、鉄道が発達しており、数日での乗り放題チケット（ジャーマンレイルパス）があることを知り、この旅ではそれを使って鉄道であちこちへ行くこととしました。

まず、二日目には、フランクフルトからICEで1時間半ほど北上し、ケルンへ。世界遺産でもあるケルン大聖堂のある町です。ケルン大聖堂は南塔を階段で延々と登って頂上まで登ることができます。高さは157メートルだそうですが、この階段の長いこと。それからさらに、最後は、外の見えるはしごのような階段になってしまいます。私は高所恐怖症ですので、最後は本当に泣きそうになりましたが、ながら何とか登り切りました。

その後、少し南下し、駐在の日本人の方も多いというデュッセルドルフへ。何があるというわけではありませんが、穏やかなドイツらしい街並みでのんびりした気分を味わうことができます。この日の昼食は二日目にして早速日本食を選んでしまいました。どうしても日本食が食べたくなり、選んだのは餃子定食。餃子は日本食ではなかったですね、すいません。デュッセルドルフは日本



人街もあるため、日本食店が数多く存在します。

そして、3日目はICEで今度は南下し、一路過去オリンピックも開催された大都市ミュンヘンを目指します。

食事は、ミュンヘンまでの途中で下車して観光したニュルンベルクで、再度小さなソーセージの盛り合わせに挑戦し、もう一品はシュニッツェルという日本でいうカツレツを食べました。ドイツは、ソーセージだけでなく、豚肉料理が名物で、それぞれの地区によって、白ソーセージ、煮込み料理、カツレツなど名物が異なります。シュニッツェルは本当においしく頂きましたし、ソーセージも量が適量であればすごくおいしかったです。そしてミュンヘンへ到着。

4日目は、ディズニーのシンデレラ城のモデルとも言われるノイシュバンシュタイン城へ。これも電車とバスの乗り継ぎで、ミュンヘンからは3時間弱でしょうか。私達は、時間もなく外から見ただけでしたが、城内見学ツアーも用意されており、普通は皆さんこれを行かれるのだと思います。外から見るだけでも童話の世界のような外観で感動しました。

そして、その日の夜、最後の豚肉料理ということで、“ハクセンバウアー”というお店でシュヴァインハクセという豚のスネ肉のローストを頼み、最後のドイツビールを味わいました。

こうしてみると、豚肉料理ばかりで、いかにも飽きそうと思われるかもしれません、これまで行った海外旅行の中では、ドイツの食事はかなりおいしかったです。肉物ばかりにはなりますが、各地区によって、料理方法も違い充実していると思います。

それからなんと言ってもドイツは土地が広大で街がきれいでした。最近では、先進国、発展途上国を問わず、旅行者が訪れるところは、高層ビル群の街か遺産かという感じになりがちですが、ドイツは、古き良き街並みを今でも大切にし、そこに人が住んでいる場所だと感じました。例えとして正しいか分かりませんが、日本で言うと尾道のような場所でしょうか。ケルン、デュッセルドルフ、ニュルンベルクなどの電車で行ける街はどこも昔ながらのきれいなヨーロッパの街並みです。

ということで、今回は久しぶりに4泊もしたこともあり、長々と書いてしまいましたが、ドイツはそれでも書き尽くせないくらい魅力のある国でした。

